科目名 口腔保健推進学 デーマ 歯科疾患の病因論に基づく口腔および全身の健康増進 提業場所 研究領域会議室 日当教員 於保 孝彦 (oho@dent.kagoshima·u.ac.ip) 日当教員 於保 孝彦 (oho@dent.kagoshima·u.ac.ip) 日当教員 於保 孝彦 (oho@dent.kagoshima·u.ac.ip) 日当教員 於保 孝彦 (oho@dent.kagoshima·u.ac.ip) 大田 当教員 (専「	—— 門 基	磁	科 目	授 業 刑	 彡態		講義		2 単位	(半期)
開講 時期											
投業場所 研究傾城会議室 対保 対保 対保 対保 対保 対保 対保 対	テ		マ	歯科疾患の病因論に基づく口腔および全身の健康増進							
担当教員 於保 孝彦 (oho@dent.kagoshima·u.ac.ip) G I O 歯科疾患の罹患像と病因病態を理解し、口腔保健推進のための方法を考案する。 B O I 2	開請	冓 時:	期	1年前期・後期 月曜2限							
G I O 歯科疾患の罹患像と病因病態を理解し、口腔保健推進のための方法を考案する。 B O 1 2	授第	業 場	所	研究領域会議室							
S B O 1 歯科疾患および関連する全身疾患の実態と病因病態を説明できる。 有効な結論を導き出すための研究計画法の基礎を学習する。 1 歯科疾患の病因と病態概論 2	担当	当 教	員	於保 孝彦 (<u>oho@dent.kagoshima-u.ac.jp</u>)							
B O 2 有効な結論を導き出すための研究計画法の基礎を学習する。 投業内容 (90分 × 15回) 担当者 放保孝彦 D	G I	G I O 歯科疾患の罹患像と病因病態を理解し、口腔保健推進のための方法を考案す									を考案する。
2 有効な結論を導き出すための研究計画法の基礎を学習する。 技 業 内 容 (90分 × 15回)	0		1	歯科疾患および関連する全身疾患の実態と病因病態を説明できる。							
1 歯科疾患の病因と病態概論 於保孝彦 2 口腔環境の特徴 於保孝彦 3 口腔細菌の分離同定 於保孝彦 4 口腔細菌の公子生物学 於保孝彦 5 口腔細菌の分子生物学 於保孝彦 6 口腔細菌の病原因子(1) 於保孝彦 7 口腔細菌の病原因子(2) 於保孝彦 9 病原因子に対するアプローチ(1) 於保孝彦 1 0 病原因子に対するアプローチ(2) 於保孝彦 1 1 歯科疾患の全身疾患への関与(動物モデルの応用) 於保孝彦 1 2 歯科疾患の全身疾患への関与(分子生物学的アプローチ) 於保孝彦 1 3 歯科疾患の全身疾患への関与(分子生物学的アプローチ) 於保孝彦 1 4 病因・病態に基づいた診断法の開発 於保孝彦 4 病因・病態に基づいた診断法の開発 於保孝彦 数科書・参考書 Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues 評価基準 および方法 オフィスアワー 特に定めず、随時対応する。 メール・HP 内の@dent.kagoshima-u.ac.jp 授業後	0 0	3 0	2	有効な結論を導き出すための研究計画法の基礎を学習する。							
2 口腔環境の特徴 於保孝彦 3 口腔細菌の分離同定 於保孝彦 4 口腔細菌のかコロジー 於保孝彦 5 口腔細菌と免疫反応 於保孝彦 6 口腔細菌の病原因子(1) 於保孝彦 7 口腔細菌の病原因子(2) 於保孝彦 9 病原因子に対するアプローチ(1) 於保孝彦 1 0 病原因子に対するアプローチ(2) 於保孝彦 1 1 歯科疾患の全身疾患への関与(動物モデルの応用) 於保孝彦 1 2 歯科疾患の全身疾患への関与(分子生物学的アプローチ) 於保孝彦 1 3 商科疾患の全身疾患への関与(分子生物学的アプローチ) 於保孝彦 1 4 病因・病態に基づいた診断法の開発 於保孝彦 1 5 病因・病態に基づいた予防法の開発 於保孝彦 数科書・参考書 Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues 評価基準 および方法 レポートによる評価…60%, 積極的な授業への参加…40% 時間外対応 メール・HP 向い@dent.kagoshima-u.ac.jp 授業後				授 業 内	容	(9 ()分 ×	15	1)		担 当 者
3 口腔細菌の分離同定 於保孝彦 4 口腔細菌のカラ生物学 於保孝彦 5 口腔細菌と免疫反応 於保孝彦 7 口腔細菌の病原因子(1) 於保孝彦 8 口腔細菌の病原因子(2) 於保孝彦 9 病原因子に対するアプローチ(1) 於保孝彦 1 0 病原因子に対するアプローチ(2) 於保孝彦 1 1 歯科疾患の全身疾患への関与(動物モデルの応用) 於保孝彦 1 2 歯科疾患の全身疾患への関与(生化学的アプローチ) 於保孝彦 1 3 歯科疾患の全身疾患への関与(分子生物学的アプローチ) 於保孝彦 1 4 病因・病態に基づいた診断法の開発 於保孝彦 1 5 病因・病態に基づいた予防法の開発 於保孝彦 教科書・参考書 Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues 評価基準 および方法 レポートによる評価…60%, 積極的な授業への参加…40% オフィスアワー 特に定めず、随時対応する。 メール・HP oho@dent.kagoshima~u.ac.jp 授業後	1	歯科疾患の病因と病態概論									於保孝彦
4 口腔細菌のエコロジー 於保孝彦 5 口腔細菌の分子生物学 於保孝彦 6 口腔細菌と免疫反応 於保孝彦 7 口腔細菌の病原因子(1) 於保孝彦 8 口腔細菌の病原因子(2) 於保孝彦 9 病原因子に対するアプローチ(1) 於保孝彦 1 0 病原因子に対するアプローチ(2) 於保孝彦 1 1 歯科疾患の全身疾患への関与(動物モデルの応用) 於保孝彦 1 2 歯科疾患の全身疾患への関与(生化学的アプローチ) 於保孝彦 1 3 歯科疾患の全身疾患への関与(分子生物学的アプローチ) 於保孝彦 1 4 病因・病態に基づいた診断法の開発 於保孝彦 1 5 病因・病態に基づいた予防法の開発 於保孝彦 教科書・参考書 Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues 評価基準 および方法 レポートによる評価…60%, 積極的な授業への参加…40% メール・HP 特に定めず、随時対応する。 メール・HP oho@dent.kagoshima-u.ac.jp 授業後	2	口腔環境の特徴									於保孝彦
 5 口腔細菌の分子生物学	3	口腔細菌の分離同定									於保孝彦
 6 口腔細菌と免疫反応 7 口腔細菌の病原因子(1) 8 口腔細菌の病原因子(2) 9 病原因子に対するアプローチ(1) 1 歯科疾患の全身疾患への関与(動物モデルの応用) 1 歯科疾患の全身疾患への関与(生化学的アプローチ) 1 歯科疾患の全身疾患への関与(生化学的アプローチ) 1 歯科疾患の全身疾患への関与(分子生物学的アプローチ) 1 歯科疾患の全身疾患への関与(分子生物学的アプローチ) 1 病因・病態に基づいた診断法の開発 1 方病皮・病態に基づいた診断法の開発 1 方 病因・病態に基づいた予防法の開発 2 放升書・参考書 1 のral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues 評価基準 および方法 トプィスアワー 特に定めず、随時対応する。 メール・HP oho@dent.kagoshima·u.ac.jp 授業後 	4	口腔細菌のエコロジー									於保孝彦
7 口腔細菌の病原因子(1) 於保孝彦 8 口腔細菌の病原因子(2)	5	口腔細菌の分子生物学									於保孝彦
8 口腔細菌の病原因子(2)	6	口腔細菌と免疫反応									於保孝彦
9病原因子に対するアプローチ (1)於保孝彦1 0病原因子に対するアプローチ (2)於保孝彦1 1歯科疾患の全身疾患への関与 (動物モデルの応用)於保孝彦1 2歯科疾患の全身疾患への関与 (生化学的アプローチ)於保孝彦1 3歯科疾患の全身疾患への関与 (分子生物学的アプローチ)於保孝彦1 4病因・病態に基づいた診断法の開発於保孝彦1 5病因・病態に基づいた予防法の開発於保孝彦教科書・参考書Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues評価基準 および方法レポートによる評価…60%, 積極的な授業への参加…40%持力イスアワー特に定めず、随時対応する。メール・HPoho@dent.kagoshima-u.ac.jp授業後	7	口腔細菌の病原因子(1)									於保孝彦
10病原因子に対するアプローチ (2)於保孝彦1 1歯科疾患の全身疾患への関与 (動物モデルの応用)於保孝彦1 2歯科疾患の全身疾患への関与 (生化学的アプローチ)於保孝彦1 3歯科疾患の全身疾患への関与 (分子生物学的アプローチ)於保孝彦1 4病因・病態に基づいた診断法の開発於保孝彦1 5病因・病態に基づいた予防法の開発於保孝彦教科書・参考書Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues評価基準 および方法レポートによる評価…60%, 積極的な授業への参加…40%時間外対応メール・HPhoo@dent.kagoshima-u.ac.jp授業後	8	口腔細菌の病原因子 (2)									於保孝彦
1 1歯科疾患の全身疾患への関与(動物モデルの応用)於保孝彦1 2歯科疾患の全身疾患への関与(生化学的アプローチ)於保孝彦1 3歯科疾患の全身疾患への関与(分子生物学的アプローチ)於保孝彦1 4病因・病態に基づいた診断法の開発於保孝彦1 5病因・病態に基づいた予防法の開発於保孝彦教科書・参考書Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues評価基準 および方法レポートによる評価…60%,積極的な授業への参加…40%時間外対応メール・HPoho@dent.kagoshima·u.ac.jp授業後	9	病原因子に対するアプローチ (1)									於保孝彦
1 2歯科疾患の全身疾患への関与 (生化学的アプローチ)於保孝彦1 3歯科疾患の全身疾患への関与 (分子生物学的アプローチ)於保孝彦1 4病因・病態に基づいた診断法の開発於保孝彦1 5病因・病態に基づいた予防法の開発於保孝彦教科書・参考書Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues評価基準 および方法レポートによる評価…60%, 積極的な授業への参加…40%時間外対応オフィスアワー特に定めず、随時対応する。メール・HPoho@dent.kagoshima-u.ac.jp授業後	1 0	病原	病原因子に対するアプローチ (2)								
13歯科疾患の全身疾患への関与 (分子生物学的アプローチ)於保孝彦14病因・病態に基づいた診断法の開発於保孝彦15病因・病態に基づいた予防法の開発於保孝彦教科書・参考書Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues評価基準 および方法レポートによる評価…60%,積極的な授業への参加…40%時間外対応オフィスアワー特に定めず、随時対応する。メール・HPoho@dent.kagoshima-u.ac.jp授業後	1 1	歯科疾患の全身疾患への関与(動物モデルの応用)									
14 病因・病態に基づいた診断法の開発 於保孝彦 15 病因・病態に基づいた予防法の開発 於保孝彦 教科書・参考書 Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues 評価基準および方法 レポートによる評価…60%,積極的な授業への参加…40% 時間外対応 オフィスアワー 特に定めず、随時対応する。 メール・HP oho@dent.kagoshima-u.ac.jp 授業後	1 2	歯科疾患の全身疾患への関与(生化学的アプローチ)									於保孝彦
大口	1 3	歯科疾患の全身疾患への関与 (分子生物学的アプローチ)									於保孝彦
教科書・参考書 Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissues 評価基準 および方法 オフィスアワー 特に定めず、随時対応する。 メール・HP oho@dent.kagoshima-u.ac.jp 授業後	1 4										於保孝彦
評価基準 および方法レポートによる評価…60%,積極的な授業への参加…40%持間外対応オフィスアワー特に定めず、随時対応する。メール・HPoho@dent.kagoshima-u.ac.jp授業後	1 5	病因・病態に基づいた予防法の開発 於保孝彦									於保孝彦
および方法 レポートによる評価…60%,積極的な授業への参加…40% オフィスアワー 特に定めず、随時対応する。 は メール・HP oho@dent.kagoshima-u.ac.jp 投業後 **	教科書・参考書 Oral Microbiology and Immunology, Bacterial Adhesion to Animal Cells and Tissue									and Tissues	
時間外対応オフィスアワー 特に定めず、随時対応する。メール・HP oho@dent.kagoshima-u.ac.jp授業後				レポートによる評価…60%、積極的な授業への参加…40%							
時間外対応 メール・HP oho@dent.kagoshima-u.ac.jp 授業後	000.07372			オフィスアワー特に定めず、随時対応する。							
授 業 後	時間外対応		<u>.</u>								
				- 0							
そ の 他	そ	の ft	<u>t</u>	2- 1.4.1	<u> </u>						